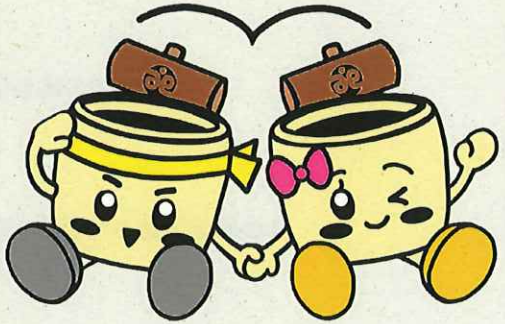
気づきから相談につなぐ
地域づくり

臼杵市社会福祉協議会
地域共生課



臼杵市社会福祉協議会　福祉委員制度について

福祉委員

地域福祉の推進を目指し、小地域（小字単位　20世帯程度）できめ細やかな福祉活動の展開並びに健康の維持及び増進を図るために必要な活動の中核者の設置を目的として定める。（福祉委員設置規定　第1条）（令和7年9月現在　809名）

地区福祉推進協議会（福祉委員を中心とした福祉推進のための地区単位協議体）

市社協と連携を取り、住民の福祉推進及び健康増進を図り、地域福祉活動の推進に努めることを目的として定める。（各地区の会則により制定）
各地区地域振興協議会の構成団体の一つである。

臼杵市地区福祉推進協議会（市内19地区の地区福祉推進協議会の総称）

各地区福祉推進協議会が地域福祉の推進を自らの課題として捉え、相互の連携を密にすることを目的とする。地域福祉に関する共通課題の協議、情報の共有及び事業の協力調整を図り、地区の垣根を越えて主体的に活動を展開することで、地域福祉の増進および福祉意識の向上を図ることとする。

臼杵市地区福祉推進協議会

- 川登地区福祉推進協議会
- 田野地区福祉推進協議会
- 西神野地区福祉推進協議会
- 戸上地区福祉推進協議会
- 南野津福祉協議会
- 野津地区福祉推進協議会
- 都松地区福祉推進協議会
- 中臼杵地区福祉推進協議会
- 佐志生地区福祉推進協議会
- 上北地区福祉推進協議会
- 南津留地区福祉推進協議会
- 下ノ江地区福祉推進協議会
- 上浦深江地区福祉推進協議会
- 市浜地区福祉推進協議会
- 南部地区福祉推進協議会
- 海辺地区福祉推進協議会
- 中央地区福祉推進協議会
- 下南地区福祉推進協議会
- 下北地区福祉推進協議会

臼杵市民生委員児童委員協議会

＜委員構成＞
委員定数115名（内、主任児童委員13名）
単位民児協数10
臼杵（14）、市浜（14）、佐志生・下ノ江（10）
上浦・深江（6）、福良ヶ丘（7）、下南（7）
海辺（6）、上北・下北（12）、南津留（10）、野津（29）

1. **具体的な活動内容の構成**
活動は、主に「見守り」「相談」「つなぎ（橋渡し）」の3つの軸で展開されています。
2. **組織としての特徴**
- **「つなぎ役」としての機能:**
行政や福祉専門機関だけではカバーしきれない「日常のちょっとした変化」を捉えるための、地域に根ざしたアンテナとしての役割が強調されています。
- **プライバシーへの配慮:**
相談内容は民生委員法に基づき秘密が厳守されることが徹底されており、住民が安心して相談できる窓口としての信頼を担保しています。

活動区分	内容の具体例
高齢者の見守り	70歳または75歳以上を対象とした定期的な訪問、生活状況の確認、孤立防止活動。
主任児童委員（子ども・子育て支援）	赤ちゃん訪問、学校行事への参加、日常的な見守り、子育て家庭の悩み相談。
連携・橋渡し	住民の困りごとを早期発見し、市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センターへ適切に情報提供・連携。
地域活動	学校運営協議会への参加、地区福祉推進協議会への協力等による地域力の維持。

＊区長からの推薦
＊任期は、３年間（12月1日～）

地域の笑顔を守る：福祉委員さんのための「はじめの一歩」ガイド

福祉委員の役割は「専門的な支援」ではなく「日常の気づきとつながり」です。
特別な活動ではなく、日常の延長にある「気づき」と「声かけ」が、地域を支える大きな力になります。

地域の「いま」を知ろう

高齢化とひとり暮らしの増加

地域の高齢化が進み、単身世帯や高齢者のみの世帯が年々増えています。

日常の「ちょっとした困りごと」

ゴミ出しや買い物など、介護段階外の不便や「似立」を感じる方が増えています。

明日からできる「小さな一歩」

役割は「気づき」と「つなぐ」こと

専門的な支援ではなく、異変に気づき、必要な場所へつなぐことが大切です。

日常の延長で見守り

回覧板での一言

郵便物の確認

挨拶、回覧板での一言、郵便物の溜まり具合の確認など、無理のない範囲でOK。

あなたの「少しの意識」が大きな力に

普段のご近所付き合いも、立派な「地域の見守り活動」の一つです。

NotebookLM

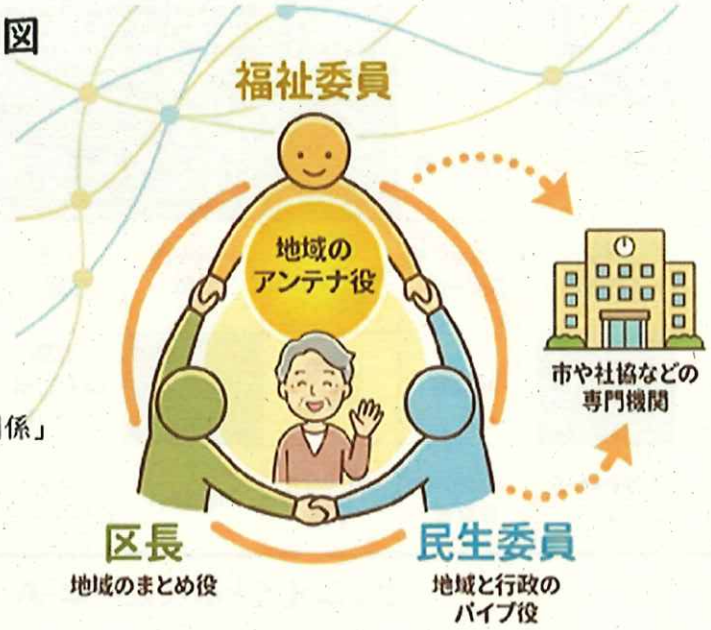
ー 福祉委員の役割について ー

◆ 気づき ・・・見守りや声かけ

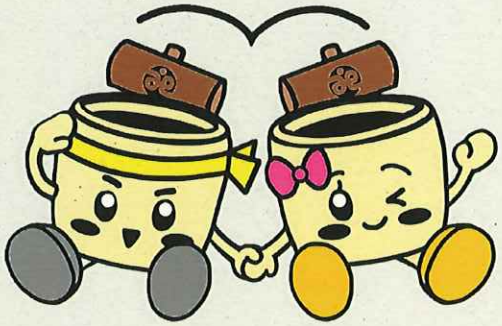
◆ つながる・・・サロンなどの福祉活動への参加、協力
社協や専門機関など

◆ ひろめる・・・健康や福祉に関する情報提供や福祉意義に
関する啓発等

◆地域の見守り体制図



三者の「顔が見える関係」
↓
見守り体制の要

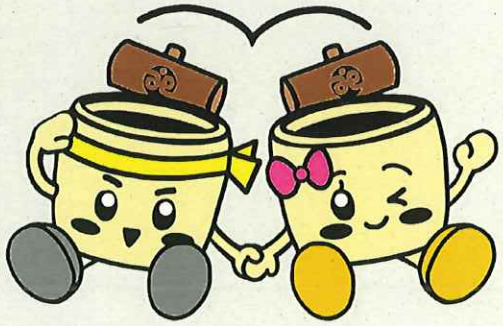


大谷翔平（高1当時）が書いたオープンウィンドウ64

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールを叩く	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード160km	体幹強化	スピード160km	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダーのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に扱う	運	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

■：第一の目標　■：■達成に必要なこと×8
■：各々の■に必要なこと×8

（3年間で16枚書いた中の、最初の1枚）
原田隆史氏・提供



① あいさつをする 「毎日笑顔で声をかける」	②	③	① 日頃から見守る 「普段の様子を知る」	②	③	① あいさつをする 「気軽に話しかける」	②	③
⑧	① 【A：気づく】 地域の変化に関心を持つ	④	⑧	② 【B：見守る】 無理なく継続して気にかける	④	⑧	③ 【C：声をかける】 安心できる関係をつくる	④
⑦	⑥	⑤	⑦	⑥	⑤	⑦	⑥	⑤
① 地域ボランティア 「地域に貢献する」	②福祉委員活動 「地域福祉を支える」	③ 自治会活動 「地域づくりに参加する」	① 【A：気づく】 地域の変化に関心を持つ	② 【B：見守る】 無理なく継続して気にかける	③ 【C：声をかける】 安心できる関係をつくる	① 福祉講座 「地域福祉を学ぶ」	② 認知症を学ぶ 「正しく理解する」	③ 防災を学ぶ 「災害に備える」
⑧地域食堂等の支援 「居場所づくりに参加する」	⑧ 【H：地域活動に参加する】 できることから地域に関わる	④ 清掃活動 「暮らしをきれいにする」	⑧ 【H：地域活動に参加する】 できることから地域に関わる	【中心目標】 気づきから支援へつなぐ地域づくり	④ 【D：学ぶ】 地域福祉を知り実践する	⑧ 地域課題を学ぶ 「地域を知る」	④ 【D：学ぶ】 地域福祉を知り実践する	④ 見守り研修 「見守り方法を知る」
⑦ 子育て支援 「こどもを応援する」	⑥ 防災活動 「地域を見守る」	⑤ 見守り活動 「安心を支える」	⑦ 【G：相談につなぐ】 必要な支援へ橋渡しをする	⑥ 【F：支え合う】 できることを助け合う	⑤ 【E：つながる】 人との関係を広げる	⑦ボランティア研修 「活動方法を学ぶ」	⑥ SOSサインを学ぶ 「異変に気付く力を養う」	⑤相談先を学ぶ 「支援先を知る」
①気づきを伝える 「気になることを共有する」	②民生委員へ相談 「身近な相談先へつなぐ」	③ 社協へ相談 「福祉の専門機関につなぐ」	① お互いさまの心 「思いやりを持つ」	② 相手を尊重 「違いを認める」	③ 否定しない 「話を受け止める」	① 自治会に参加 「地域とつながる」	②	③
⑧ 関係機関と連携 「地域で支える」	⑦ 【G：相談につなぐ】 必要な支援へ橋渡しをする	④地域包括へ相談 「高齢者支援へつなぐ」	⑧地域全体で支える 「みんなで助け合う」	⑥ 【F：支え合う】 できることを助け合う	④ 秘密を守る 「信頼を大切にする」	⑧	⑤ 【E：つながる】 人との関係を広げる	④
⑨ 福祉委員へ相談 「区長・民生委員へつなぐ」	⑥ 一人で判断しない 「専門職へ相談する」	⑤市役所へ相談 「必要な制度につなぐ」	⑦多様性を認める 「誰も排除しない」	⑥ 一人で抱え込まない 「周りを頼る」	⑤ 小さな助け合い 「できることをする」	⑦	⑥	⑤